

HopStepJump 7

<https://toyono-jinjikyoo.com/>

授業づくり④・⑤

～授業の導入・展開・まとめについて～

初任者研修第6・7回は大阪教育大学附属池田小・中学校に参集して、授業展開や指導技術など授業づくりの具体を学ぶ研修でした。8月3日は小学校班、4日は中学校班での実施で、午前の10年経験者研修との合同実施(通称・コラボ研修)は、グループごとに初任者による模擬授業をもとに協議をおこない、具体的な改善点や指導のポイントを10年経験者から助言をいただきました。午後は附属池田小・中学校の先生による模擬授業や研究協議・質疑応答をおこない、児童・生徒の視点から授業づくりを考えることや、1学期の成果と課題をふりかえり、2学期からの授業づくりを考える機会となりました。

～10年研の振り返りシートより抜粋～

私が初任者の時、「授業を見られる」という機会はお腹が痛くなるほど緊張して苦しいものでした。毎回ダメ出しが続き、でも、うまくいったときには今までに見たことのないくらい褒めてくださる先生方が寄り添っていただき今があります。今回の模擬授業では、どのように指導案を修正すればよりよい授業になるのか一緒に考えられたと思います。そして、今まで出会ってきた児童の反応を実際にしながら模擬授業を受けました。少しでも初任の先生方が参考になり、自信につながる時間になっていればと願うばかりです。

10年以上の経験があると、どうしても「あ、この単元ね。」「教科書はこう書いてあるから。」と、サラッと終わってしまうこともあるので、改めて目の前の子どもを見て、その子どもたちに応じた教材を作って、工夫して楽しい授業になるように心がけようと思いました。「私のクラスの子どもたちはこうなので、ゲームを取り入れました。」という初任の方の言葉に、はっとしたので、私も担当しているクラスの子どもたちをもう一度見つめ直していきたいです。

自分だったらこうやる、こう説明するなどを伝えるだけでなく、初任の先生の考えや他の10年目の先生の話聞き、新しい発見も多く、とてもよい研究協議になりました。10年で凝り固まった考え方を初任の先生に見つめ直す機会をもらいました。ありがとうございました。

初任者の方の模擬授業を見て、授業の方法の大事な部分を再認識することができました。どの方も声の出し方、声のかけ方などに気を配り、私も忘れていた部分があるなど反省しました。また、授業の進め方についてディスカッションするうちに、初任の方ならではの経験則にとらわれないアイデアがたくさんあって、自分の授業にも活かしていければよいと思いました。

初任者の先生の一生懸命授業をするフレッシュな姿に刺激を受けました。授業のアイデアや板書計画など、発想力を感じて改めて気を引き締めてがんばらなくてはと思いました。

どの初任の先生もこの日のために一生懸命授業をつくっていて、初心に戻った気分でした。この10年で学習指導要領も変わり、ICT機器も充実しており、ずいぶん授業の幅が広がっていると感じました。初任者の先生からも学び、自分も成長していけるようにしていきたいです。

10年の経験におごることなく学び続ける姿勢、初任者から学び取り今後活かす姿勢が振り返りシートの記述から感じられますね。合同実施ならではの学び合いを、今後も各校でも見られることを期待しています。裏面にも10年研の振り返りシートに見られた10年目の先生たちの気持ちや考えていることを掲載していますのでご覧ください。

この研修通信を読むころには、コラボ研修で協議した模擬授業を実践している方もおられるかと思います。助言をふまえてできたこともあると思いますが、いただいた助言の中には他の授業にも応用できる視点もあると思います。コラボ研修をきっかけに、授業のこと・子どものことで新たに気づいたことを今後活かしてください。



4人の初任者の模擬授業を見て、日々いろいろと考え目の前の子どもと真摯に向き合い取り組んでおられるのだなあと感じ、伝わってくるような時間でした。授業を一つ作るのにもうまくいかないことや自分の想定をこえるようなことが起きると思うのですが、その時に相談できたり困ったことを共有できたりするような関係性を職場で築いていきたいと思います。

初任者の先生、本当に頑張っていました。子どもたちへの声かけが温かく、子ども役をしていて居心地が良かったです。何を学ばせたいかを考え、子どもの実態に合わせて授業を組むのは難しいですが、そこがおもしろいところだと再認識しました。10年目の先生のアドバイスを聞いて、私も勉強になりました。普段から言い合える(伝え合える)職場がいいですね。

同じ学年で、どこにつまずくか、どんなまとめにしたらいいのかを一緒に考えられて楽しかったです。1年生の言葉でまとめることの難しさ、まとめをどんな内容にするかでどこをどんな時間配分でおさえるかを再度考えることができました。

今回のコラボ研修をきっかけに、普段からの校内でのつながりや関わりが増えることを期待しています。改めて、初任者研修の年間テーマは「子ども主体の学級・授業づくり」です。(※研修の手引2ページ参照)「子ども主体」とはどのようなことでしょうか。それぞれが思い描く姿があると思います。子ども主体の学級や授業を考えるために、普段から子どもの話、授業の話を教職員同士でどれくらいしているのでしょうか。振り返りにもあるように、それらの話はとても楽しくておもしろくて深い話なのですが、目まぐるしく過ぎていく日々の中でなかなか時間を作れない現状があるかもしれません。10年経験者研修の振り返りシートの記述の中で、「このような思いをもった先輩が同じ職場にいる」ということをお伝えできればと思い、掲載しました。そして、半年後からはみなさんも先輩としての姿・立ち振る舞いが求められます。自分のクラスだけでなく、学年や職場の雰囲気をつくる担い手にみなさんもなるのです。



最後に紹介したいのは、模擬授業のテーマの「子どもの力を引き出す」に関する内容です。グループごとに模擬授業では授業者と児童・生徒役をしました。午後には附属池田小・中学校の先生が授業者となり、実際に授業を受ける機会を経て、気づくこと・考えることがそれぞれあったと思います。

普段、児童のことを考え授業を進めているつもりでも、やはり児童の側で考えることを忘れがちになり、発言や指示をおこなうことが多くなっているなど感じました。今回、先生に声をかけてもらったり自分の発言に肯定的に反応してもらったりすることで自信になり、また頑張ろうと思えるのかなと思いました。

10年経験者から学ぶこと・初任者同士で学び合うことはもちろん、初任者から学ぶ10年経験者の姿勢、子どもの視点から学ぶ姿勢がたくさん見られた今回の研修をきっかけに、今後も子ども主体の学級づくりや授業づくりに励んでください。そして、「子どもとともに学び続ける教職員」という豊能地区がめざす教職員像(※研修の手引1ページ参照)をこれからも意識して、引き続き初任者研修をがんばりましょう!

初任者研修の受講について(お知らせ)

第11回・第12回は班別での実施です。あらかじめ学校行事等を確認して、スケジュール管理をしましょう。事前に不都合が見込まれる場合は、振替受講が可能ですので、管理職を通じて所属の市町教育委員会または教育センターに連絡をしてください。(※研修の手引1ページ参照)

